



安全のために必ずお守りください

ご使用前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
この説明書では、機器を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。また下に示す記号は説明書や製品に表示してお客様に安全に正しく製品をお使いいただくようにしたものです。内容をよく理解して正しくお使いください。

 一般的な指示	 一般的な禁止	 風呂、シャワーなど水場での使用禁止
 分解禁止		

警告



水がかかったり、表面に結露を生じることになるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームで使用しないでください。(故障・感電の原因になります。)



修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。(故障・感電の原因になります。)

注意



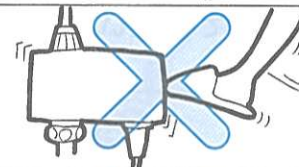
コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントを使わないでください。(火災の原因になります。)



電源プラグをコンセントに差込むときは、根元まで十分差込んでください。(火災の原因になります。)



製品に強い力や衝撃を与えないでください。(故障や漏水の原因になります。)



電気製品ですから駆動部に水をかけないでください。(故障・事故の原因になります。)

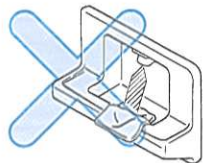


電源プラグを濡れた手でさわらないでください。(感電の原因になります。)



おねがい

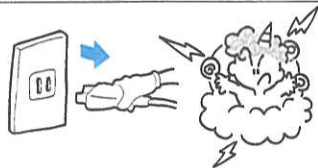
感知領域内に障害物がはらないようにしてください。
(誤動作の原因になります。)



直流電源や異電圧の電源での使用は避けてください。
(火災の原因になります。)



雷が発生しているときは、電源プラグを抜いてください。
(故障の原因になります。)



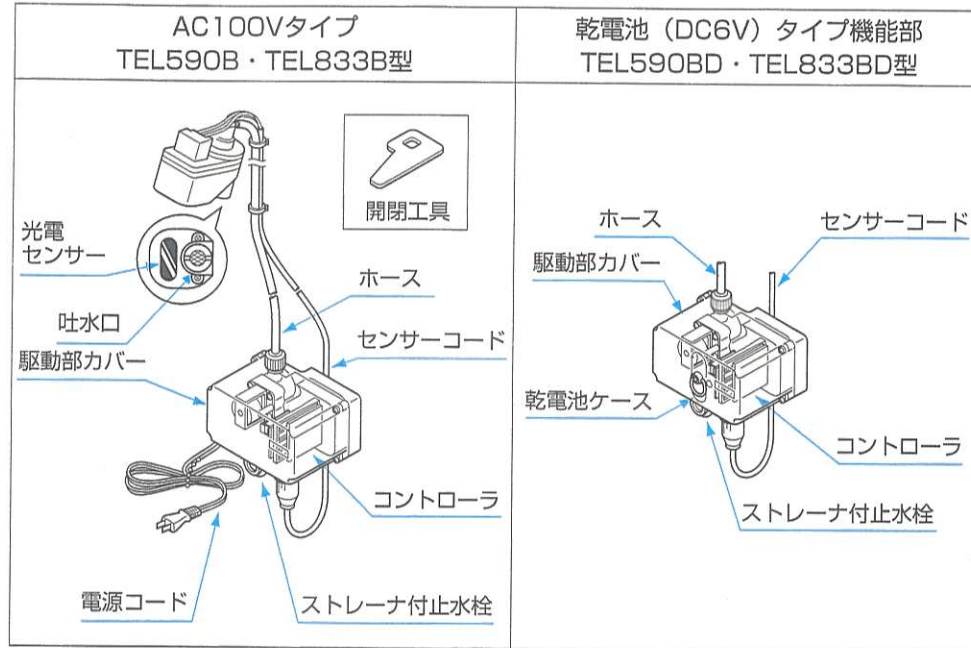
長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。



特長・各部のなまえ

- 自動的に吐水・止水できます。
光電センサーによって、吐水口に手を近づけると、自動的に吐水、止水ができます。
- 衛生的です。
水栓金具に手を触れることなく吐水・止水ができますので、便利で衛生的です。
- 無駄な水を消費しません。
自動的に止水を行うので止水忘れがなく、無駄な湯や水を流すこともなく、節水を図ることができます。
また、状況に応じて自動的に感知距離を設定しますので、誤感知による吐水を防止します。
- 定流量弁を内蔵しております。
定流量弁の採用により吐水の出過ぎをカットします。ただし、吐水量をさらに絞る必要のある場合は、ストレーナ付止水栓で調節できます。
- ストレーナを設けています。
配管中の砂やごみが機能部に入らないようストレーナを設けています。

各部のなまえ



つかいかた

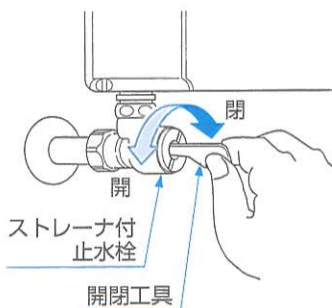
吐水
と
止水



- 吐水口に手を近づけるとセンサーが感知し水が出ます。
- 手を離すと1~2秒後に止水します。
- 約1分間連続して感知すると自動的に止水します。再び吐水させたい場合には、一度手を離し、再度手を近づけてください。
- センサー感知は学習方式のため手を動かさないでいると約15秒で止水します。

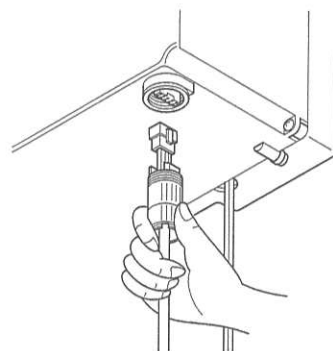
使用前に

ストレーナ付止水栓は開いているか



ストレーナ付止水栓が開いているか確認してください。

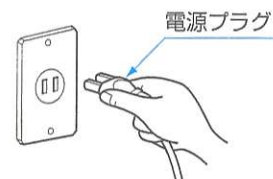
センサーコードのコネクタは入っているか



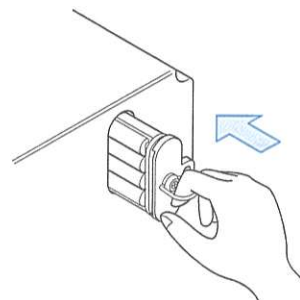
ロックがかかるまで差込む

スパウトからのセンサーコードを駆動部のコネクタへ確実に差込んでください。

電源が入っているか



- AC100Vタイプの場合は、コンセントに電源プラグを根元まで確実に差込んでください。



- 乾電池タイプの場合は、乾電池をコントローラの奥まで確実にはめ込んでください。なお、装着要領は11ページの「日常の点検・電池交換」の項をご覧ください。

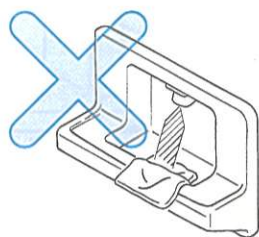
光電センサー



〈注意〉

光電センサーは、電源を入れてから約10分間は点滅かもしくは、感知するたびに点滅しますが、その後は、点滅は消え正常に作動します。

光電センサーの前に障害物をおかない

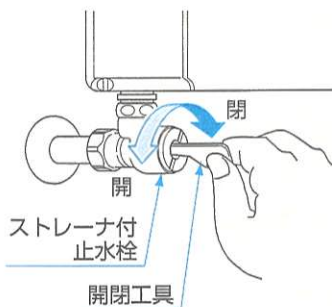


光電センサーの感知距離は次のようになっています。
感知距離（手のひら）
約10cm～20cm
※セットされる陶器により感知距離を自動設定します。

感知距離内に障害物はいらないようにしてください。
（誤動作の原因になります。）

調節のしかた

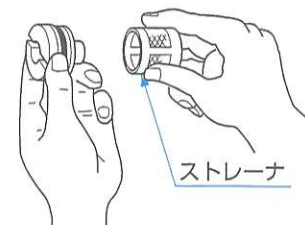
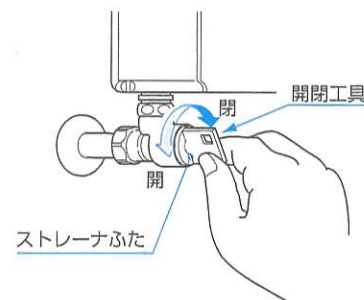
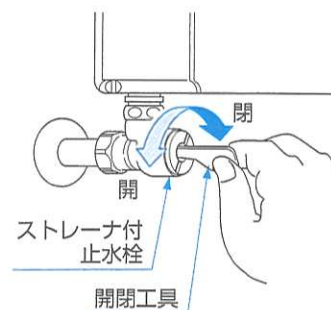
流量調節



水の勢いが強すぎるときは、付属の開閉工具で、ストレーナ付止水栓を回して、調節してください。

日常の点検

ストレーナの掃除



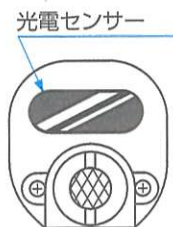
ご使用になられているうちに吐水量が少なくなったときには次の手順でストレーナを掃除してください。

1. 駆動部のストレーナ付止水栓を付属の開閉工具で閉めます。

2. ストレーナふたを開閉工具ではずします。

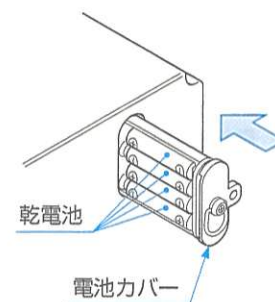
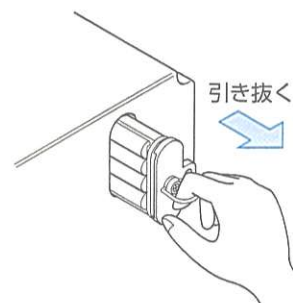
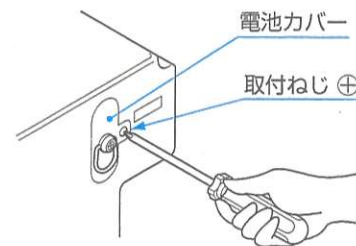
3. ストレーナを取出してブラシなどで掃除し水洗いをします。
4. ストレーナをもとの位置にもどし、ストレーナふたを取付けます。
5. 適正な吐水量にストレーナ付止水栓を回し調節します。

乾電池切れ
予告表示
(乾電池タイ
プの場合)



- 乾電池は、アルカリ乾電池単3形を採用していますので月4000回程度の使用としますと、およそ2年は使用できます。
- 乾電池が切れると、機能を停止し、数日間光電センサーが4秒周期で点滅しお知らせします。また、光電センサーが点滅をしていない場合にも、機能が停止していれば、まずは、お早めに次の要領で乾電池の交換を行ってください。

電池交換
(乾電池タイ
プの場合)



- 電池カバー取付ねじをはずします。

- 電池カバーを抜き出し、乾電池を交換します。(乾電池の方向に注意してください。)

- もとおりに電池カバーと乾電池を同時に差込み、取付ねじで電池カバーを取付けます。(ケース内に水が入らないように注意してください。)

〈注意〉電池交換の際には、次のことをお守りください。

- ①電池の取替えは、一度に全部行うこと。
- ②新旧もしくは、異種の混用をしないこと。
- ③使い切った電池は、早めに出すこと。

- 乾電池は、アルカリ乾電池単3形です。

※使用済みの乾電池は、不燃ゴミとして処理してください。

手入れのしかた

お手入れの際は、クレンザー・みがき粉や粗い粒子を含む洗剤・塩酸系洗剤・シンナー・ベンジン及びナイロンタワシなどは、器具の表面を傷つけたり、侵したりしますので使用しないでください。

特に、光電センサー表面は傷つけないよう、ご注意ください。



金具の手入れ

めっきされた金具が、いつまでも美しさを保つように、ふだんは柔らかい布でみがき、ときにはミシン油やカーワックスなどをしました布でみがいてください。
お手入れが十分ですと、美しい輝きを失いません。

駆動部カバーの手入れ

駆動部カバーが汚れたら、適当に薄めた中性洗剤をふくませた布で、ふきとってください。そのあと水でぬらした柔らかい布をよく絞って、洗剤をふきとり、最後にからふきしてください。

光電センサーの手入れ

光電センサーの表面は、週1~2回程度、柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、適当に薄めた中性洗剤をふくませた布で、ふきとってください。そのあと水でぬらした柔らかい布をよく絞って、洗剤をふきとり、最後に柔らかい布でからふきしてください。

修理を依頼される前に

- 故障したときの修理は、お取付工事店にご依頼ください。
なお、ご不明な点がございましたらもよりの当社支社・営業所にお問合せください。
- 次のような場合は、故障ではありません。修理を依頼される前にお調べください。

修理を依頼される前に

現象	お調べいただくところ	処置のしかた	参照ページ
吐水しない	ストレーナ付止水栓は開いていますか。	閉まっていれば開く。	6
	ストレーナ付止水栓にごみ等がつまっていますか。	ごみがつまっていれば掃除をする。	9
	AC100V用の場合、電源プラグはコンセントに入っていますか。 乾電池用の場合、乾電池は入っていますか。	入っていなければ入れる。	7
	センサーコードのコネクタは確実に差込まれていますか。	差込まれていなければ差込む。	7
	乾電池用の場合、4秒周期でセンサーのランプが点滅していませんか。	点滅していれば、電池交換。	10
	停電中または断水中ではありませんか。	そうであれば回復するまで、お待ちください。	—
光電センサーの故障	光電センサーの前に障害物はありませんか。	あれば取除く。	8
	光電センサーの表面が汚れていませんか。	汚れていれば、きれいにする。	12

乾電池用の場合、万一上記の箇所を調べてみても、吐水しない場合は、乾電池の寿命切れが考えられますので、その場合は新しい乾電池に交換してください。

次のページへ

アフターサービス

修理を依頼される前に

現象	お調べいただくところ	処置のしかた	参照ページ
吐水量が 少ない	ストレーナ付止水栓は全開になっていますか。	全開にされていない場合は開く。	6
	ストレーナ付止水栓にごみ等がつまっていますか。	ごみがつまっていれば掃除をする。	9
一時的に止水 しない	センサーの前に障害物はありませんか。	あれば取除く。	8
	センサーの表面に水滴や汚れが付着していますか。	付着していれば拭き取る。	12

まったく止水しない場合には、止水栓を閉じてください。

- 手洗器用自動水栓は学習機能を採用しており、センサー感知距離を15秒に一度自動設定します。そのため以下のような現象が発生することがありますが、故障ではありません。

現象	説明
手を差し出しても短時間で止水する。	学習機能により手の動きを感知し吐水の判定を行います。そのため、手の動きが感知されない場合は障害物と判断し15秒にて止水します。動きを感知すれば最大60秒間吐水します。
手を外しても約15秒間止水しない。	使用中にセンサー面に水滴や汚れが付着すると、手を外しても水が出続けることがあります。学習機能の採用により約15秒間放置後、止水し正常動作に復帰します。水滴や汚れは拭き取るようにしてください。
急に使い勝手が悪くなった。	センサー面に水滴や汚れが付着していると学習機能が正常に動作しない可能性があります。センサー面は常にきれいな状態にしておいてください。

- アフターサービスを依頼される前に13～14ページの「修理を依頼される前に」の項をもう一度ご確認ください。
- それでも不具合な場合、あるいは不明な場合はご自分で修理せず、工事店または当社支社・営業所にご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけのときは、次の事をお知らせください。
 - ①製品名：手洗器用自動水栓
 - ②形式：TEL590B・TEL833B型（AC100V用）
TEL590BD・TEL833BD型（乾電池用）
 - ③故障の現象（できるだけ詳しく）
 - ④取付年月日
 - ⑤お名前・住所・電話番号
 - ⑥道順

仕様

AC100Vタイプ

項	目	TEL590B・TEL833B型
電 源	電 圧	AC100V、50/60Hz
	消 費 電 力	2W（作動時5W）
電 源	コ ー ド	ビニルコード 有効長0.85m
給 水 圧 力	最低必要水圧	0.05MPa（流動時）
	最 高 水 圧	0.75MPa
周 囲 使 用 温 度 範 囲		0～55℃
周 囲 使 用 湿 度 範 囲		90%RH以下

乾電池タイプ

項	目	TEL590BD・TEL833BD型
電 源		DC6V（アルカリ乾電池単3×4本）
乾 電 池 寿 命		月4000回の使用で約2年
給 水 圧 力	最低必要水圧	0.05MPa（流動時）
	最 高 水 圧	0.75MPa
周 囲 使 用 温 度 範 囲		0～55℃
周 囲 使 用 湿 度 範 囲		90%RH以下

MEMO